

# 平成23年度会務・会計報告



## 平成23年度幹事長報告

平成23年度日本弁理士クラブ  
幹事長 権 澤 聡

### 1. はじめに

平成23年2月1日に日弁幹事長の任期が始まり、日弁5派から構成されました副幹事長5名および幹事10名とともに、1年間活動致して参りました。

この幹事会は、各派の幹事長経験者など経験豊富な先生方、また前年から引き続き幹事をされている先生、副幹事長はいずれも30代から40代と若く活動的で、各人の豊富な経験、行動力に支えられ、バランスよく、和気あいあいとした中にも引き締まった空気が流れた素晴らしい感じの先生方であったと感じております。

昨年度特に大きな出来事としては、3月11日に発生した東日本大震災です。この東日本大震災では、未曾有の被害が発生し、日本弁理士会としても対応しなければならない多くの問題が発生致しました。

日弁自体では、特に大きな直接的な被害はなかったものの、原発事故などに伴う計画停電を含む電力の使用制限など電力事情も悪化して、旅行会など日弁の会務に若干の前年とは異なる対応が必要になりました。

特に、旅行を計画している3月から4月にかけては計画停電が実施されており、東京電力管轄および東北電力管轄は停電による列車の運休および宿泊施設での停電が予想されたため、旅行先を決定するのに思ったより困難を極め、最終的には岐阜長良川で鵜飼を堪能することになりました。岐阜で開催したことにより、東海地区の会員の出席も多く、いつもとは違った顔ぶれで結果として盛会になり日頃の喧騒を忘れ、楽しいひと時を過ごすことができました。

これらのことにも対応し1年間、大過なく無事、

幹事会活動をすることができたのも、副幹事長、幹事、会計幹事、各委員会の委員長、副委員長、委員、相談役、常任相談役の先生方、5会派の幹事長をはじめ多くの先生方のご協力のお蔭と、ここに深く感謝申し上げます。

### 2. 奥山尚一会長のバックアップ

昨年度は、日本弁理士クラブとして日本弁理士会に送り出している奥山尚一会長の1年目でした。2年間の任期のうちに奥山執行部の政策を実現させるためには、1年目の滑り出しが重要になると考えられるので、日本弁理士クラブの総力を結集して、全面的にバックアップすることを第1として活動致しました。また、奥山会長とともに立候補された副会長、常議員、監事の先生方も全員当選され、ご活躍戴いております。

2月から3月にかけて開催された日本弁理士会の次年度人事検討委員会で、各派幹事長、人事担当の方々と協力しながら、日本弁理士会の各委員会、外部機関に多くの優れた適切な人材を推薦して、送り出すことができました。委員となられた日弁会員の先生方には、奥山会長をサポートするために素晴らしいご活躍を戴いております。

奥山会長は、知的財産と弁理士を若い発想で再定義しますというコンセプトのもと、①魅力的な知財制度を作る ②弁理士数を適正化する ③クライアントの信頼感を醸成する ④弁理士の収益構造を改善するという公約を実現するために活動されておりますが、これらの公約を達成されることを期待すべく、日弁会員が常に奥山執行部との連携を強め、内と外からサポート致しました。

### 3. 会派内の親睦

日弁は5会派で構成されていることにより、普段あまり付き合いのない会員も少なくないため、親睦行事も重要でした。

まず、各会員への情報の伝達が重要な事項の一つと考え、5月にメルマガを再開し1月までに約40通のメルマガを配信し、日弁及び各会派の紹介、日弁及び各派の研修の案内および旅行会などについて情報を掲載することにより、研修等に積極的に参加しやすい状況を作りました。

また、先にも記載しましたが、旅行会を岐阜長良川温泉で開催することにより、東海地区の会員の参加が容易になり、東海地区の会員の参加が多くいつもとはちょっと顔ぶれの違った会になり好評でした。

さらに、ゴルフ大会、ボーリング大会及びテニス大会も開催でき、スポーツを通じての懇親を図りました。

研修につきましても、第1回付記試験から続いている特定侵害訴訟代理業務試験対策研修、過去問解析講座、答案練習会を日弁として開催し、会員のみならず会員外にも門戸を開き、受験者の合格に貢献しました。それに加えて、各派で開催している研修会をメルマガにて情報を提供することにより、各派のみならず他の会派の研修にも積極的に出席しやすい状況となりました。

#### 4. 日弁親派の増員

増加の一途をたどる無会派層を日弁の会員として勧誘できることに越したことはありませんが、勤務弁理士や企業弁理士の比率も高く、直ぐには多くの増員を望めない現実があります。

先にも記載致しましたように、メルマガを再開し、日弁に属さない方にも配信して、まずは日弁の活動を知ってもらい、日本弁理士クラブの存在をアピールし、日本弁理士クラブの親派の増員をはかるように致しました。

また、従前から行われていたことですが、研修について会員外に門戸を開放し、日弁の活動に接する機会を作り、日弁を理解してもらえるように致しました。

#### 5. 選挙活動

一昨年度とは異なり、会長選挙が無かったことも一つの理由ですが、昨年は一昨年ほど選挙活動に時

間を費やされませんでした。

また、日弁内および他会派との折衝を繰り返し、現在の経済的および時間的な状況を考慮して日本弁理士会として最も適切である途を模索し、最適な立候補者を無選挙ではありますが全員当選するようできました。

このために多くの方との意見の交換、折衝などの短時間で多数の対応があり、協力して戴いた方々に感謝致しております。

一方、一昨年度の日本弁理士会役員選挙以降、会員数が9千人以上になり、全会員の半数以上を占める無会派層にもアピールする選挙運動の重要性が高まり、従前以上に選挙に労力と、資金がかかるようになってきています。日本弁理士クラブとしては、本年度の定時選挙に備え、常に十分な選挙運動を行えるだけの財政基盤を整えるように致しました。

#### 6. 最後に

各派の利害が異なることはありましたが、各会派の協力のもと、単に利己的な方向を探るのではなく、弁理士として、日本弁理士会のため、ひいては知的財産及び国民の利益を考え、異なった考えからもいろいろな意見を出し合い、1つに結束して戴いたことには、心から感謝致します。

1年を振り返ってみまして、幹事長として特に何をしたとの実感は正直なところありません。無事退任できたのは、実際には日弁所属のPA会、春秋会、南甲弁理士クラブ、無名会、稲門弁理士クラブの5会派から選出された副幹事長、幹事、政策委員長、および、その5会派の幹事長または代表をはじめとした2千数百人の会員の皆様に助けられた1年と実感しております。

ここで改めて、皆様方のご厚意に感謝申し上げます。

一昨年度の場合には、熾烈な会長選挙もあり、幹事長が大変だったのを目の当たりにして比較しているせいかもしれません。

ということは、本年度の水野幹事長は忙しい年になると思われますので、本年度の水野幹事長に対して、絶大なる支援を戴けますようにここに心からお願ひ申し上げます。



## 平成23年度 日本弁理士クラブ 政策委員会活動報告

政策委員長 水野 勝文

### 1. 委員会の構成

平成23年度日弁政策委員会は、以下のメンバーにより構成されました。また、担当副幹事長は当時の香原修也先生（無名）でした。

委員長	水野 勝文（無名）
副委員長	長濱 範明（春秋）
	藤谷 史郎（P A）
	金本 哲男（南甲）
	鶴目 朋之（無名）
	高橋 英樹（稲門）
委員	磯貝 克臣（春秋）
	出野 知（春秋）
	萩原 康司（P A）
	福田 伸一（P A）
	染谷 伸一（南甲）
	中村 仁（南甲）
	竹山 尚治（無名）
	久松 洋輔（無名）
	貝塚 亮平（稲門）
	吉田 正義（稲門）

### 2. 諮問事項

平成23年度の政策委員会への諮問事項は以下の通りです。

- （1）日本弁理士クラブとしての中長期ビジョンの検討
- （2）日本弁理士会執行部に対する政策面のサポート
- （3）日本弁理士会執行部からの検討依頼事項への対応

### 3. 開催状況

第1回委員会（拡大）	4月4日（月）
第2回（拡大）相談役会	8月29日（月）
第2回委員会（拡大）	10月12日（水）

### 4. 委員会活動

まず、委員会の立ち上げに先立ち、2月14日に、日本弁理士会（弁理士会）の調査室規則改正および弁理士会の時限的会費値下げについて、日本弁理士クラブ（日弁）所属の各会派から意見徴収を行い、その結果を権澤聡幹事長に報告しました。

また、第1回の委員会は、弁理士会の奥山尚一会長および西出眞吾副会長、日弁の権澤聡幹事長、各副幹事長、各幹事、および日弁所属の各会派幹事長にもご出席頂き、4月4日に出席者を拡大した形で実施しました。

当日の委員会においては、奥山会長から、弁理士会の時限的会費値下げなどの収支予算の適正化に関する事項を含む、平成23年度の弁理士会事業計画についてご説明を頂きました。続いて、その事業計画に対して、他の出席者から質疑応答などが行われました。本年度の弁理士会における政策のうち、収支予算の適正化、特に会費の値下げは非常に重要な意義を有する事項であるため、出席者の間で活発な意見交換が展開されました。

6月30日には、弁理士会から日弁への要望に基づき、弁理士法改正に関する見直し項目について、メールによる意見の聴取を行いました。当該聴取の結果は、各会派から出された意見とも集約し、権澤幹事長および水野の連名にて弁理士会へ回答書として提出致しました。

これに関連して、8月29日開催の日弁相談役会（政策委員長、政策副委員長も参加）において、執行役員会より、弁理士法改正に関するタイムスケジュールが説明されました。

10月12日に実施されました第2回日弁政策委員会（拡大）では、弁理士会執行部より下記議題についての説明がなされました。概略は以下の通りです。

#### 議題1. 「未受講者の処分」について

継続研修の未受講者の処分に関し、現行の弁理士法に基づくスキームでは、未受講者となつてから最終的に執行役員会の処分に至るまで2年弱の期間を要していた。そこで、関連する弁理士法を改正して、より迅速に処分を行えるようにしたい。なお、新スキームによると、第一

回の処分まで最短で6ヶ月程度になる見込み。

(説明者：吉井副会長)

## 議題2.「会館積立金の必要性」について

弁理士会館を自己保有する目的で会館基金の設置が2003年になされたが、あえて借室ではなく自己保有する意義について、再度検討する必要があるのではないかと。(説明者：西出副会長)

## 議題3.「特定企業への支援活動を広げることへの妥当性」について

中小企業支援のため、新たな支援規則を定めたい。具体的には、①会員が被支援者に出張する際の交通費の支給、②被支援者の有する知的財産の価値評価に要する費用の負担。(説明者：井上副会長)

これらの議題について意見を提出しました。

平成23年度、弁理士会の会員数は約9千人となりましたが、会員数の増加に伴い、会派活動への興味が少ない無会派層が多く含まれるようになってきております。さらに、この無会派層の中には、弁理士会における会務に対してまでも興味が少ない者が増えつつある点も否めません。一方で、知的財産制度の発展、弁理士の地位向上、弁理士会における会員へのサポートの一層の拡充などに対するさらなる要求が年々高まっており、その結果弁理士会の活動範囲も多岐にわたっています。

このような状況の下、各会派や日弁のような、政策面や活動面で弁理士会を支えるための組織の存在は欠くことができません。

政策委員会としても、執行役員会からの期待に答え、弁理士会の政策や日弁の活動を支えていけるようどうすべきか、考えさせられる1年でした。

以上



## 選挙対策委員会 (協議委員会) 報告

委員長 清水 善 廣

### 1. 開催回数

協議委員会 (拡大を含む)	4回
選挙対策委員会 (拡大を含む)	2回

### 2. 委員会の構成

委員長	清水 善廣 (春秋)	0 8 7 7 4
副委員長	河野 哲 (南甲)	0 9 1 3 5
同	福田 伸一 (PA)	0 9 5 3 3
同	橋本 清 (春秋)	1 0 3 3 9
同	鈴木 一永 (無名)	1 2 4 3 8
同	細田 浩一 (稲門)	1 2 5 7 6
委員	紺野 昭男 (春秋)	0 9 4 6 4
	岩永 和久 (春秋)	1 1 5 3 0
	佐藤玲太郎 (PA)	1 2 5 0 9
	鶴目 朋之 (無名)	1 3 0 8 7
	齋藤 康 (無名)	1 3 2 0 3
	瀧野 文雄 (南甲)	1 3 4 8 3
	河野 生吾 (南甲)	1 4 1 4 8
	岩見 晶啓 (PA)	1 4 7 6 5
	林 剛史 (南甲)	1 5 2 0 9
	菅原 峻一 (稲門)	1 5 8 6 7

### 3. 審議結果

①副会長候補者として、下記の会員の推薦を決定した。

0 9 9 9 0	西出 眞吾 (春秋)
1 0 0 3 5	江藤 聡明 (無名)
1 0 4 5 5	神林恵美子 (PA)
1 0 7 1 9	長濱 範明 (春秋)
1 1 6 6 8	田村 爾 (南甲)

②監事候補者として、下記の会員の推薦を決定した。

0 7 9 1 4	高橋 祥泰 (春秋)
0 8 1 5 4	亀川 義示 (無名)

09924 高原千鶴子（PA）

③関東選挙区常議員候補者として、下記の会員の推薦を決定した。

08267 西脇 民雄（稲門）

08569 峯 唯夫（無名）

08830 小宮 良雄（春秋）

09671 本多 一郎（PA）

10276 須田 元也（無名）

11173 伊藤 武泰（春秋）

11426 五十嵐貞喜（春秋）

12105 林 篤史（PA）

12835 木戸 良彦（春秋）

13036 小川 嘉英（南甲）

13084 渡邊 伸一（PA）

13145 津田 理（南甲）

15648 堀籠 佳典（PA）

16570 和田 祐造（南甲）

一方、常議員については、関東選挙区において立候補届出時点で立候補者の数が定員を1名超過したが、その後、他会派から1名の候補者が立候補を辞退し、最終的に上記推薦者の当選が無投票で決まった。

尚、常議員の東海選挙区において、日弁として推薦した南甲の尾崎隆弘（10320）候補、PAの岡戸昭佳（10575）候補も共に無投票で当選となった。

最後に、無投票当選に向けて大変なご努力を頂いた日弁幹事長、日弁政策委員長を始め、各位に対し改めて御礼申し上げる次第である。

#### 4. 選挙の結果

当選人の決定 平成23年10月17日

副会長選挙 無投票当選

監事選挙 無投票当選

常議員選挙 無投票当選

#### 5. 当選祝賀会

平成23年12月8日

東海大学校友会館 望星の間

#### 6. 捕捉説明

平成24年度は現会長（奥山尚一先生）の任期2年目となるため、会長選挙が行われないため、当初、副会長、監事、常議員についても実質的に選挙がないこと（無投票当選）が予想された。

そして、副会長、監事については、日弁内および他会派を含め全体として選挙を回避する意向があり、上記推薦者の当選が無投票で決まった。尚、本年度は無会派からの副会長の立候補がなく、会長所属会派から2名の副会長候補が推薦され、上記の通り、無投票で当選となった。



## 研修委員会報告

委員長 小西 恵

平成23年度研修委員会につきまして、下の通りご報告いたします。

### 1. 開催回数

研修委員会 1回  
研修会 8回

### 2. 委員会の構成

委員長 小西 恵 (稲門)  
副委員長 藤沢 昭太郎 (南甲)  
委員 石津 縁 (春秋)  
黒崎 文枝 (春秋)  
市原 政喜 (P A)  
渡邊 伸一 (P A)  
小川 雅也 (南甲)  
高田 伸一 (無名)  
志摩 美裕貴 (稲門)

### 3. 研修内容

#### (1) 特定侵害訴訟代理業務試験対策研修

特定侵害訴訟代理業務試験対策研修として、以下の研修会を行いました。

#### ①過去問解析講座

日 程：2011年7月5日、7月19日、7月26日、  
8月2日、8月9日

会 場：弁理士会館、市ヶ谷 自治労会館

講 師：弁護士、弁理士 石神恒太郎先生

(青和特許法律事務所)

内 容：第1回 ①特定侵害訴訟代理業務試験  
のポイント(侵害訴訟の要件  
事実について)

②平成17年度第1問解説

第2回 平成19年度第1問、第2問解説

第3回 平成21年度第1問、第2問解説

第4回 平成22年度第1問、第2問解説

第5回 ①平成17年度第2問解説

②過去問の傾向と試験対策

受講者数：約90人

#### ②模擬試験

日 程：2011年9月13日、9月20日、10月4日

会 場：家の光会館コンベンションホール

講 師：弁護士、弁理士 坂田洋一先生

(小林・弓削田法律事務所)

内 容：第1回 特許法関連模擬試験1問

第2回 商標・不正競争防止法関連模  
擬試験1問

第3回 小問、第1・2回の模擬試験  
結果講評 等

受講者数：約65名

以上



## 会報委員会報告

委員長 坂本 智弘

平成23年度会報委員会につきまして、次の通りご報告致します。

### 1. 委員の構成

委員長 坂本 智弘 (P A)  
委員 野田 薫央 (P A)  
小野 暁子 (P A)  
大澤 豊 (春秋)  
荒木 邦夫 (春秋)  
川村 武 (南甲)  
楠 和也 (南甲)  
坂次 哲也 (無名会)  
大國 寿香 (稲門)  
高橋 政治 (稲門)  
担当副幹事 伊東 忠重 (P A)

### 2. 活動内容

#### (1) 会報「日弁」の発行

発行部数：2,565部  
内訳 P A：800部  
春秋：835部  
南甲：430部  
無名：300部  
稲門：200部

発送：11月4日に各会派へ発送

### 3. 会合

4月25日に開催。

その他は、電子メールを用いて作業を進めた。

以上

## ホームページ委員会 報告

委員長 林 篤史

平成23年度のホームページ委員会の構成及び活動内容について、次の通りご報告いたします。

### (1) 委員の構成

委員長 林 篤史 (P A)  
委員 津田 理 (南甲)  
岩見 晶啓 (P A)  
山崎 貴明 (春秋)  
山田 勉 (無名)  
中野 寛也 (稲門)

### (2) 会合及び審議内容

開催日時：平成23年4月20日 午後6:30～8:30

場所：弁理士会館 2-A

議事：

1. 幹事長挨拶、出席者紹介、事業計画
2. 日弁メルマガの再開について、その発行方針等
3. ホームページのメンテナンスの方法

### (3) ホームページ委員会の活動報告

- ・日弁メルマガの発行 (39通)
- ・日弁メルマガの読者増加のための活動
- ・ホームページへの幹事長就任挨拶および退任挨拶の掲載、日本弁理士クラブ主催の研修会の案内掲載 (2件)、各会派で主催する研修会等の案内掲載 (16件)、日弁会報の掲載、日弁メルマガの掲載 (発行から約1ヶ月後)
- ・レンタルサーバの契約コース変更(コストカット)
- ・ホームページのメンテナンス (随時)

### (4) 日弁メルマガの発行方針

日弁シンパを増やすこと (日弁という組織を少しでも身近に感じてもらうこと) を目的とし、また当委員会委員の作業負荷が重くならないようにするため、以下の記事を中心に発行した。

- ・日弁の活動の報告や種々企画の紹介
- ・構成会派の紹介や会派での企画の紹介
- ・日弁主催研修および会派主催研修の案内

以上

## 平成23年度会合行事記録

平成23年度副幹事長 石 橋 良 規

月	総会・例会・行事	幹事会	相談役会	委員会	その他
平成23年 2月		2/1 第1回			
3月		3/4 第2回			3/11 東海協議会現役員慰 労新役員激励会 3/11 西日本弁理士クラブ 現役員慰労新役員激 励会
4月	4/23 第1回定期総会	4/4 第3回	4/26 第1回	4/ 2 第1回研修 4/ 4 第1回政策 4/23 第1回ホームページ 4/25 第1回会報	
5月		5/9 第4回			
6月	6/18-19 旅行会 (岐阜長良川温泉) 6/19 ゴルフ大会	6/6 第5回			
7月				7/4 第1回協議	
8月			8/29 第2回	8/ 1 第2回協議 8/29 第2回政策	
9月				9/ 5 第3回協議 9/26 第4回協議	
10月		10/3 第6回		10/11 第1回選対 10/12 第3回政策 10/14 第2回選対	
11月					
12月	12/ 8 役員当選祝賀会 12/13 ボーリング大会	12/5 第7回			
平成24年 1月	1/13 第2回定期総会 1/13 新年会 1/28 テニス大会	1/6 第8回			

## 平成23年度 総会承認事項

平成23年度副幹事長 石橋良規

### 第1回総会

日時：平成23年4月26日（火）午後6時30分

会場：弁理士会館2階A、B会議室

- (1) 平成22年度事業報告の承認を求める件について、賛成多数により承認された。
- (2) 平成22年度日弁決算報告の承認を求める件について、賛成多数により承認された。
- (3) 平成23年度事業計画の承認を求める件について、賛成多数により承認された。
- (4) 平成23年度予算の承認を求める件について、賛成多数により承認された。
- (5) 平成24年度日本弁理士会役員推薦および平成23年度日弁役員選任の承認を求める件については、幹事会一任とすることで、賛成多数により承認された。

### 第2回総会

日時：平成24年1月13日（金）午後17時15分

会場：東商スカイルーム ルビールーム

- (1) 平成24年度日弁幹事長選任の件について、水野勝文会員を選任することにつき、賛成多数により承認された。
- (2) 平成24年度日弁政策委員長選任の件について、西島孝喜会員を選任することにつき、賛成多数により承認された。
- (3) 平成24年度日弁副幹事長・幹事・会計監事選任の件について、平成24年度幹事長に一任することにつき、賛成多数により承認された。
- (4) 平成23年度会務、会計および会計監査の中間報告が行われた。
- (5) 日弁役員推薦基準改正の件について、現行役員制度との整合をはかるための改正をすることにつき、賛成多数により承認された。

以上

## 平成23年度会計報告

平成23年度会計担当副幹事長  
伊東忠重



平成24年度第1回日弁総会において平成23年度会計報告が承認されましたので、以下にご報告申し上げます。

下記の収入・支出の差し引きは、円となり、次年度活動準備金円と合算すると、平成24年度への繰越金は、円となりました。平成23年度は、前年度の会長選挙の影響もあり、前年度からの繰越金が減少しましたが、平成24年度予想される会長選挙のために十分な資金を確保すべく、平成23年度は緊縮予算の下、対応してまいりました。関係各位のご理解、ご協力に心より御礼申し上げます。

(単位:円)

### 収入の部

前年度会計からの繰越金  
各クラブ分担金  
協議(選対)委員会残金  
研修委員会残金  
利息

---

合計

### 支出の部

例会・総会  
幹事会  
会報委員会  
協議委員会  
政策委員会  
規約委員会  
HP委員会  
研修委員会  
相談役会  
旅行会  
旅行会ゴルフ大会補助  
新年会  
ボウリング大会補助

テニス大会補助

庶務

慶弔費

渉外・交通

幹事長渉外費

予備費

次年度活動準備費

---

合 計

## 平成23年度 日弁ボウリング大会 報告

ボウリング大会担当副幹事長 香原修也

本大会（通算第34回となるようです）は、平成23年12月13日、例年どおり田町ハイレーンにおいて開催されました。小生も担当副幹事長を仰せつかった関係で、ほぼ10年ぶりに（←ここ重要）ボウリングをさせて頂きました。参加者は、小生を含め36名と、昨年の44名を10名以上下回ったので、本年度（平成24年度）大会での盛会在が祈念されるところです。

さて各成績ですが、団体戦（各会派上位6名のトータルピン数を争う）を制したのは「春秋会」(2731ピン)。前年覇者のP A会（今回準優勝）に59ピン差をつけ優勝を果たしました。24年度の対決は如何なる結果となりましょうや（現地で見届けたい気もしますが…）

個人戦優勝者は磯田史郎会員（春秋会）でトータル557ピン（小生の〇倍…）。アベレージは185.67にも達し、ハイゲームは205ピン（同賞1位）、春秋会の団体戦優勝に大きく貢献なさいました（同会の中でもダントツの得点です）。また磯田会員は、参加者中、最も多い14ものストライクを量産しておられます（え？自分、…なの？）。

個人戦準優勝者は大塚啓生会員（南甲弁理士クラブ）の487ピンで、ハイゲームでも第2位(194ピン)に食い込みました。第3位は鈴木利之会員(P A会)で481ピン。ちなみに鈴木会員はスペアを最も多く（15個）とっておられます（小生にもスペアはあります!）。

他の重賞として、レディース部門優勝者の玉利房枝会員（昨年より6ポイントアップの379ピン）、ハイゲーム第3位は伊藤高英会員の191ピンでした(大波賞も…)。小波賞は阪田泰之会員（春秋会）です（8ピン差）。

最後になりましたが、毎年、大会の準備をして下さる中尾俊輔様（春秋会）をはじめ、各会派の担当幹事の皆様、色々お世話になり有り難うございました。本年度も諸々宜しく願いいたします。団体戦

及び個人戦の詳細を以下に記しておきます(敬称略)。

## 平成23年度 日弁テニス大会 報告

### ■団体戦

・優勝	春秋会	2731ピン
・2位	PA会	2672ピン
・3位	南甲弁理士クラブ	2522ピン
・4位	無名会	2272ピン
・5位	稲門弁理士クラブ	826ピン

テニス大会担当副幹事長 香原修也

本大会は、平成24年1月28日(土) 8:45~15:30まで、東京港区高輪にある「品川プリンスホテル高輪テニスセンター」にて行われました。

報告の前に先ずお詫びをせねばなりません。本大会の担当副幹事長である小生は、当初、テニスには参加せずとも会場には赴く心積もりでしたが、同月中旬に急性腰痛を患い、大会当日の状況も思わしくないことが予想されたため、直前になってご担当会派である春秋会：伏見俊介先生に欠席となる旨をお伝えし、お許しを得た次第です。このため、開会の挨拶や、懇親会での賞品贈呈、総評などの役割をこなすことができませんでした。伏見先生をはじめ、大会を仕切って下さったはずのPA会平山先生、南甲弁理士クラブ瀧野先生、稲門弁理士クラブ高橋先生、無名会土井先生には、この場をお借りし改めてお詫びを申し上げます。

言い訳が長くなってしまいました。かような事情により、下記報告は、後日伏見先生よりお聞きした内容によります。ご諒解下さい。

### ■個人戦(3ゲーム投球完了者：36名)

・優勝	磯田史郎	(春秋)	557ピン
・2位	大塚啓生	(南甲)	487ピン
・3位	鈴木利之	(PA)	481ピン
・4位	伊藤高英	(春秋)	475ピン
・5位	三上 結	(PA)	469ピン
・6位	小川雅也	(南甲)	464ピン
・7位	中尾俊輔	(春秋)	458ピン
・8位	樋口和博	(春秋)	454ピン
・9位	倉持 誠	(稲門)	452ピン
・10位	矢崎和彦	(無名)	451ピン
・15位	栴田 剛	(無名)	409ピン
・20位	村上晃一	(無名)	404ピン
・25位	河野生吾	(南甲)	361ピン
・30位	阪田泰之	(春秋)	327ピン
・34位	大倉奈緒子	(春秋)	284ピン (第34回大会賞)
・BB	小松英彦	(無名)	272ピン

(それにしてもボウリングって難しいですね(こんなだったかなあ?)。久しぶりに恥ずかしっ、という気持ちになりました(本稿を認めるにあたり成績表を見て更に落ち込みました)。大会終了後、「中締め挨拶がよかったよ」、と言われたことだけがよいよき思い出です…)

了

### ■本年度の参加者(敬称略・順不同)

PA会	：平山洲光 後藤政喜 岡部讓 岡部典子 田中勲
春秋会	：茂泉修司 伏見俊介 中尾俊輔 田中秀樹 沼形義彰 沼形泰枝
南甲弁理士クラブ	：早崎修 瀧野文雄 藤沢昭太郎 浅村敬一
無名会	：土井健二 小川英宣 朴暎哲 竹山尚治 中里卓夫
稲門弁理士クラブ	：清水貴光 窪田稚之 高橋政治 岩田啓

(以上24名)

本大会は総当たり戦で行われ、順位決定は各チーム間の2試合の対戦成績によって勝ち点を下記のよ

うに算出し、合計勝ち点の多いチームほど上位になります。また、合計勝ち点が等しい複数のチームの順位は、当該チーム相互の直接対決で勝ち点の合計に差が出ている場合には、勝ち点の多いチームが上位となり、差がない場合は、代表者1名による1回のジャンケンにより勝ったチームが上位となるとされています。

#### ■成績

- ・優勝 P A会 2勝1敗1分け  
勝ち点：23
- ・2位タイ 春秋会 3勝1敗0分け  
勝ち点：18
- ・2位タイ 南甲弁理士クラブ 2勝1敗1分け  
勝ち点：18
- ・4位 無名会 1勝3敗0分け  
勝ち点：16
- ・5位 稲門弁理士クラブ 0勝4敗0分け  
勝ち点：5

P A会の皆様、優勝おめでとうございます（久々の優勝、とお聞きしました）。勝敗表では春秋会と南甲弁理士クラブが2位タイと表示されておりましたので、ジャンケン大会が開催されたのかと思って確認したところ、ジャンケンルールは適用されなかったとのことにございます。共に準優勝ということになりましょうか。おめでとうございます。

ボウリングと違い個人賞はありません（本当はあった方がよいのですが…）。この点、小生としてはやや魅力を感じた次第です。

了

